



令和3年5月時点

1. 全体工程及び事業費

- ・土木工事58工区のうち、軌道等の設備工事に引渡しした工区は46工区（前月から1工区増）であり、残りの土木工事及び設備工事についても設定された工期内で進捗している【P－3】
- ・事業費総額の状況について、事業費総額は認可の範囲内である【P－5】

2. 敦賀駅【P－6】

- ・前回（令和3年4月16日）以降、中間報告における工程より特段の遅延は発生していない（令和3年5月21日現地確認）
- ・計画工程（中間報告における工程）どおり、駅部については令和3年10月末までに土木工事から建築工事に、駅終点部についても令和4年5月末までに土木工事から軌道工事に引渡すことができる見込み。

3. 加賀トンネル盤ぶくれ対策【P－9】

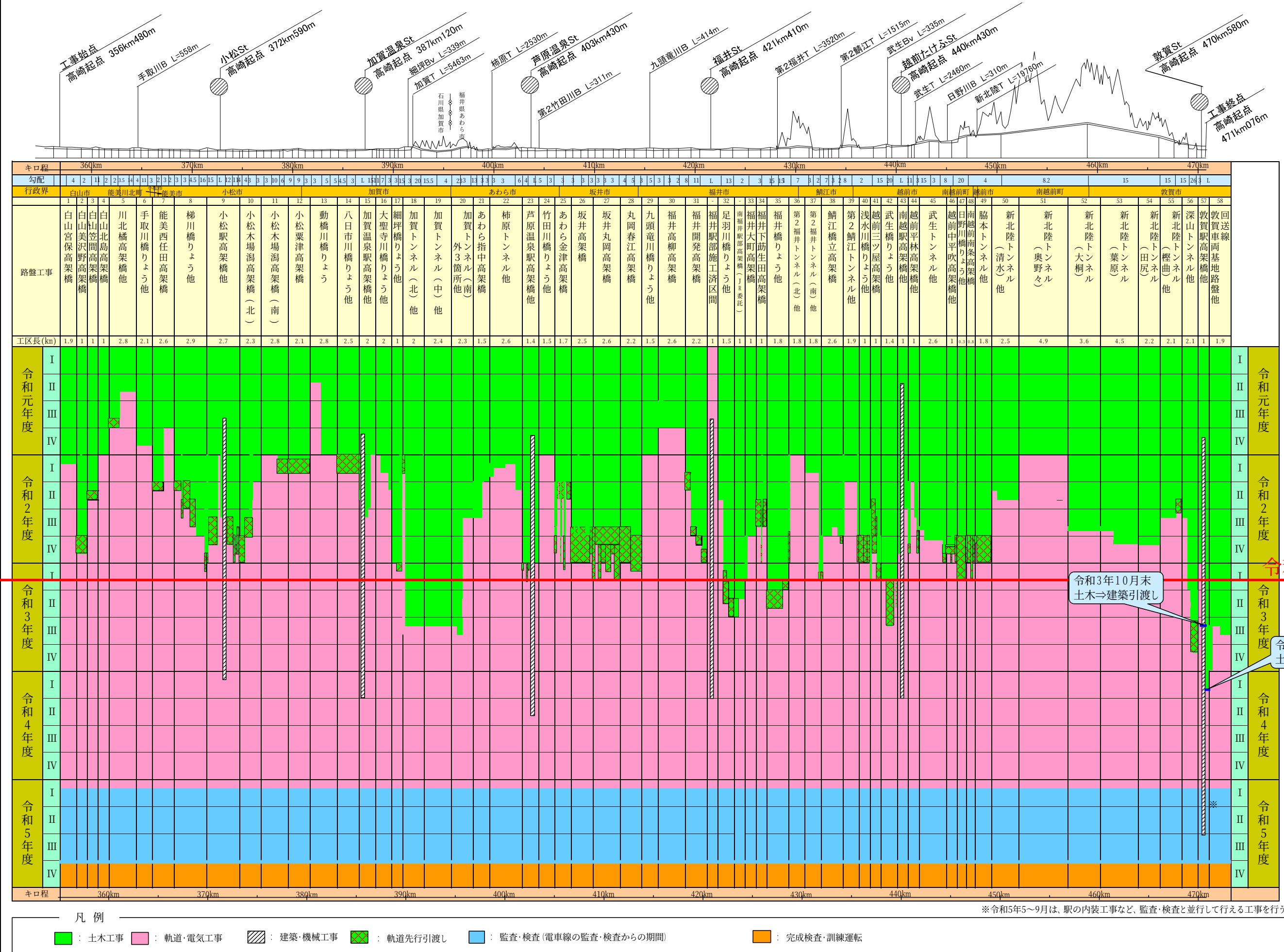
- ・水準測量・地中変位計測の結果（令和3年4月5日～5月10日実施）、明確な隆起傾向はなく、盤ぶくれ現象は確認されていない。
- ・今回のクラック調査（令和3年4月5日～5月10日実施）の結果、新たに0.5mm未満のクラックが、8BLにおいて確認された。（更なる対策工を追加せずに経過観察を行う。）
- ・盤ぶくれ対策の固定ボルトは、1,876本の全ての施工が完了した。
片づけを令和3年6月末までに行い、計画通り11月から軌道工事に着手する予定（令和3年5月21日時点）。

4. その他工区（令和3年5月19日時点）【P－11】

- ・天候による全体工程への影響はなし。
- ・受注者等及び機構（建設所）において、新型コロナウイルスの感染が発生したが、全体工程への影響はなし。

【北陸新幹線（金沢・敦賀間）工事工程表(案)】

令和3年5月21日



各工区の工事進捗状況一覧表

(凡例)

土木工事から軌道工事へ引渡しした工区

現在工事中の工区

※ 土木工事において、本体構造物以外の工事は含まない。

計画より進んでいる工区

計画通りもしくは調整済みの工区計画より遅延が生じている工区

令和3年5月21日時点

No	工区名	土木工事		軌道・電気工事			建築・機械工事			監査検査・訓練運転等 ⇒開業			備 考
		完了予定 (R3.4)	完了予定 (R3.5)	開始時期※1	完了見込※2 (R3.4)	完了見込※2 (R3.5)	開始時期	完了見込 (R3.4)	完了見込 (R3.5)	開始予定※3 時期	完了見込 (R3.4)	完了見込 (R3.5)	
1	白山宮保高架橋	R2.4末	R2.4末	R2.6初	R4.8中	R4.8中	—	—	—	R5.5初	R6.3末	R6.3末	
2	白山美沢野高架橋	R2.12末	R2.12末	R3.2初			—	—	—				
3	白山笠間高架橋	R2.7末	R2.7末	R2.9初			—	—	—				
4	白山北島高架橋	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
5	川北橋高架橋他	R1.12末	R1.12末	R1.11中			—	—	—				
6	手取川橋りょう他	R2.2末	R2.2末	R2.11中			—	—	—				
7	能美西任田高架橋	R2.6末	R2.6末	R2.3初			—	—	—				
8	梯川橋りょう他	R2.12末	R3.2末	R2.9中			—	—	—				
9	小松駅高架橋他	R3.2末	R3.2末	R3.3初	R4.12上	R4.12上	R2.9末	R5.4末	R5.4末				
10	小松木場潟(北) 高架橋	R2.12末	R2.12末	R2.6中			—	—	—				
11	小松木場潟(南) 高架橋	R2.4中	R2.4中	R2.5初			—	—	—				
12	小松粟津高架橋	R2.4中	R2.4中	R2.6初			—	—	—				
13	動橋川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.5中			—	—	—				
14	八日市川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.6初			—	—	—				
15	加賀温泉駅高架橋他	R2.10末	R2.10末	R2.6初			R2.10中	R5.4末	R5.4末				
16	大聖寺川橋りょう他	R2.7末	R2.7末	R2.8初	R4.12末	R4.12末	—	—	—				
17	細坪橋りょう他	R3.3末	R3.3末	R3.7初			—	—	—				
18	加賀トンネル(北) 他	R3.10末	R3.10末	R3.2初			—	—	—				R3.2～R3.10は土木と軌道・電気を同時施工
19	加賀トンネル(中) 他	R3.10末	R3.10末	R3.1中			—	—	—				R3.1～R3.10は土木と軌道・電気を同時施工
20	加賀トンネル(南) 外3か所他	R3.12中	R3.11末	R2.7中			—	—	—				R2.7～R3.11は土木と軌道・電気を同時施工
21	あわら指中高架橋	R2.10末	R2.10末	R2.8初			—	—	—				
22	柿原トンネル他	R2.7末	R2.7末	R2.7初			—	—	—				
23	芦原温泉駅高架橋他	R3.3末	R3.3末	R3.4初			R2.9初	R5.4末	R5.4末				R2.9～R3.3は土木と建築を同時施工
24	竹田川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R3.3下	R4.11末	R4.11末	—	—	—				
25	あわら金津高架橋	R2.12末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				
26	坂井高架橋	R2.12末	R2.12末	R3.1初			—	—	—				
27	坂井丸岡高架橋	R2.11末	R2.11末	R3.1初			—	—	—				
28	丸岡春江高架橋	R2.12末	R2.12末	R3.2初			—	—	—				
29	九頭竜川橋りょう他	R2.3末	R2.3末	R2.4初			—	—	—				
30	福井高柳高架橋他	R1.12末	R1.12末	R2.2中			—	—	—				
31	福井開発高架橋	R3.2中	R3.2中	R2.7中			—	—	—				
	福井駅高架橋他	—	—	R3.3中	R4.12中	R4.12中	R2.4上	R5.4末	R5.4末				
32	足羽川橋りょう他	R3.7末	R3.7末	R3.3中			—	—	—				R3.3～R3.7は土木と軌道・電気を同時施工
	南福井駅部高架橋(JR委託)	R3.9末	R3.9末	R3.7初			—	—	—				R3.7～R3.9は土木と軌道・電気を同時施工
33	福井大町高架橋	R3.5末	R3.5末	R3.1下			—	—	—				R3.1～R3.5は土木と軌道・電気を同時施工 R3.5末に軌道引渡しの見込み

※1: 土木工事が一部区間を先行して引渡しを行っている。
※2: 完了予定及び完了見込は、電車の監査・検査に関する工事が完了した時期
※3: 電車の監査・検査からの期間であり、全線を通して実施する予定。

各工区の工事進捗状況一覧表

(凡例)

土木工事から軌道工事へ引渡しした工区

現在工事中の工区

※ 土木工事において、本体構造物以外の工事は含まない。

計画より進んでいる工区

計画通りもしくは調整済みの工区

前月からの変更箇所

計画より遅延が生じている工区

全体工程に影響を及ぼす遅延が生じている工区

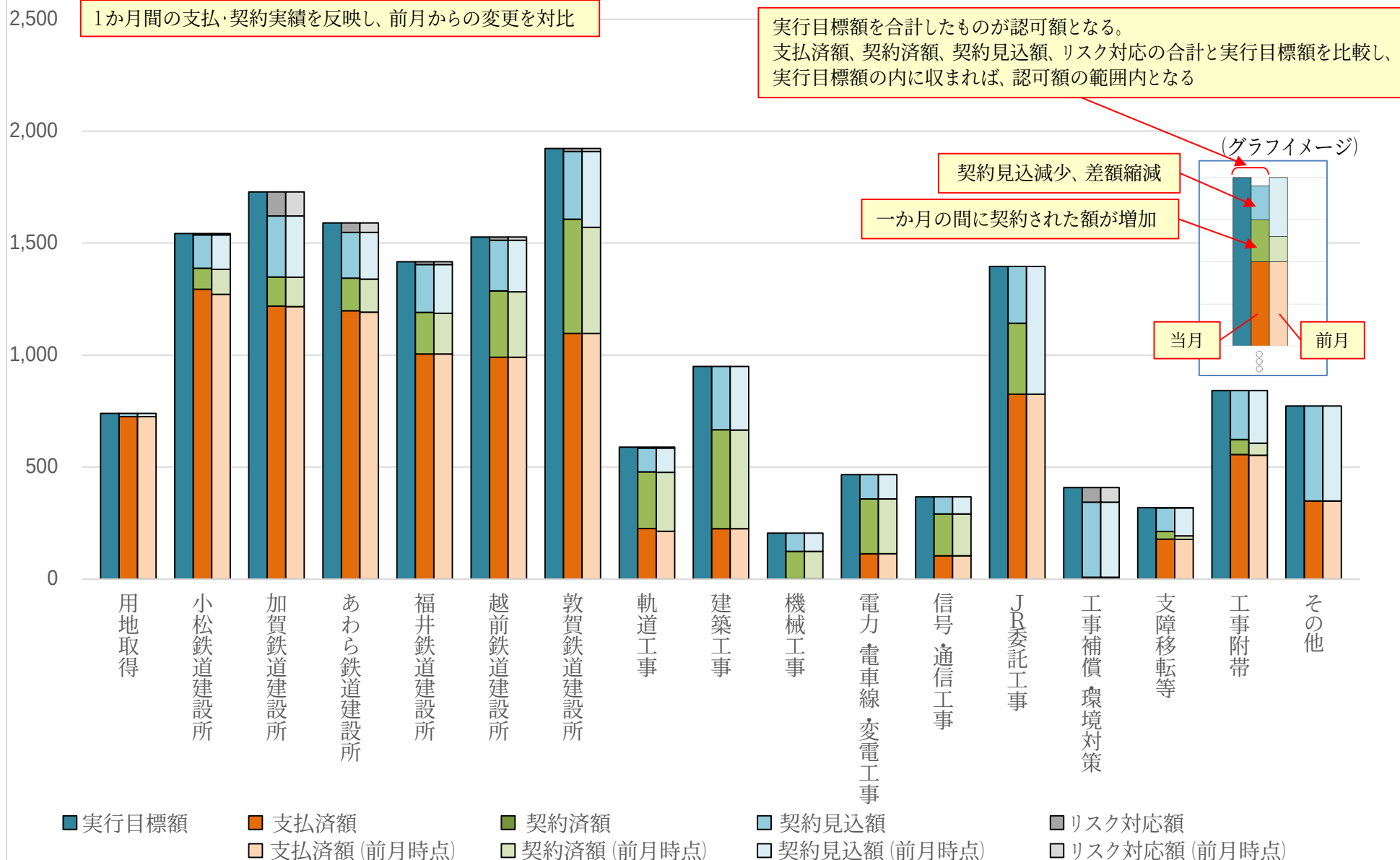
令和3年5月21日時点													
No	工区名	土木工事		軌道・電気工事			建築・機械工事			監査検査・訓練運転等 ⇒開業			備 考
		完了予定 (R3.4)	完了予定 (R3.5)	開始時期※1	完了見込※2 (R3.4)	完了見込※2 (R3.5)	開始時期	完了見込 (R3.4)	完了見込 (R3.5)	開始予定※3 時期	完了見込 (R3.4)	完了見込 (R3.5)	
34	福井下叡生田高架橋	R3.1末	R3.1末	R2.12初	R4.12中	R4.12中	—	—	—	R5.5初	R6.3末	R6.3末	
35	福井橋りょう他	R3.6末	R3.6末	R3.5下			—	—	—				R3.5～R3.6は土木と軌道・電気を同時施工
36	第2福井トンネル(北) 他	R2.12中	R2.12中	R2.6中			—	—	—				
37	第2福井トンネル(南) 他	R3.5末	R3.5末	R2.6初			—	—	—				R2.6～R3.5は土木と軌道・電気を同時施工 R3.5末に軌道引渡しの見込み
38	鯖江橋立高架橋	R3.4末	R3.4末	R3.1中			—	—	—				R3.1～R3.4は土木と軌道・電気を同時施工 R3.4末に軌道引渡し済
39	第2鯖江トンネル他	R2.12末	R2.12末	R2.7初			—	—	—				
40	浅水川橋りょう他	R2.12末	R2.12末	R3.3下			—	—	—				
41	越前三ツ屋高架橋	R3.5末	R3.5末	R3.1初	R4.12末	R4.12末	—	—	—				R3.1～R3.5は土木と軌道・電気を同時施工 R3.5末に軌道引渡しの見込み
42	武生橋りょう他	R3.5末	R3.5末	R3.4初			—	—	—				R3.4～R3.5は土木と軌道・電気を同時施工 R3.5末に軌道引渡しの見込み
43	南越駅高架橋他	R3.2末	R3.2末	R2.12初			R2.10末	R5.4末	R5.4末				
44	越前平林高架橋他	R3.1末	R3.1末	R3.3初			—	—	—				
45	武生トンネル他	R3.2末	R3.2末	R3.2初			—	—	—				
46	越前中平吹高架橋	R3.2上	R3.2上	R3.2初			—	—	—				
47	日野川橋りょう	R2.12末	R2.12末	R3.2初			—	—	—				
48	南越前南条高架橋他	R3.2上	R3.2上	R3.2初			—	—	—				
49	脇本トンネル他	R2.12末	R2.12末	R3.1中			—	—	—				
50	新北陸トンネル(清水) 他	R2.8末	R2.8末	R2.7初			—	—	—				
51	新北陸トンネル(奥野々)	R2.3末	R2.3末	R2.6初			—	—	—				
52	新北陸トンネル(大桐)	R2.12中	R2.12中	R2.6下	R4.12中	R4.12中	—	—	—				
53	新北陸トンネル(葉原)	R3.1末	R3.1末	R2.6中			—	—	—				
54	新北陸トンネル(田尻)	R3.1末	R3.1末	R2.11下			—	—	—				
55	新北陸トンネル(樫曲) 他	R2.10末	R2.10末	R2.11初	R5.4末	R5.4末	—	—	—				
56	深山トンネル他	R3.10中	R3.10中	R3.9下			—	—	—				R3.9～R3.10は土木と軌道・電気を同時施工
57	敦賀駅高架橋 駅終点方	R3.10末	R3.10末	R3.11初			R3.11初	R5.4末	R5.4末				
		R4.5末	R4.5末	R4.4初			—	—	—				R4.4～R4.5は土木と軌道・電気を同時施工
58	敦賀車両基地路盤他	R4.3末	R4.3末	R2.4初			R2.12初	R5.4末	R5.4末				土木と軌道・電気・建築・機械を同時施工

土木工事から軌道工事へ引渡しした工区 46工区
〔福井駅高架橋工区及び南福井駅高架橋工区は除く〕

※1: 土木工事が一部区間を先行して引渡しを行っている。
※2: 完了予定及び完了見込は、電車線の監査・検査に関する工事が完了した時期
※3: 電車線の監査・検査からの期間であり、全線を通して実施する予定。

北陸新幹線 金沢・敦賀間 事業費総額の状況 (R3.4月末時点)

億円



敦賀駅高架橋 進捗状況

凡例

施工済み

呼称

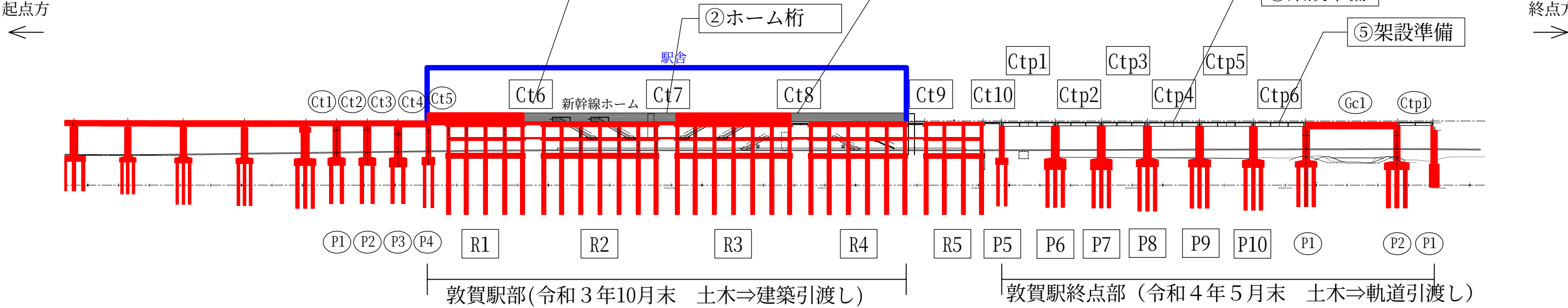
Ct :コンクリートT桁

Ctp:PC桁

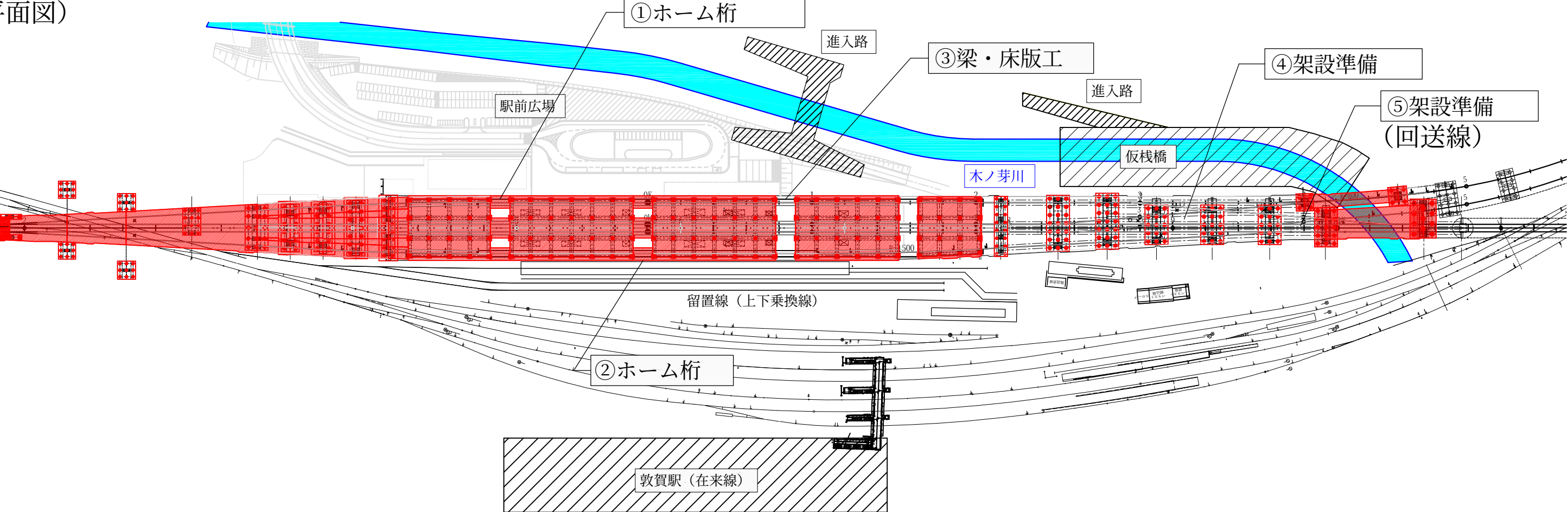
P :橋脚

R :ラーメン高架橋

(縦断図)



(平面図)



2021. 4. 16 確認

2021. 5. 21 確認

土木⇒建築 引渡し

R3. 10末

クリティカルA

① ホームズ
約1ヵ月先行

② ホームズ
約1ヵ月先行

③ 梁・床版工
約2ヵ月先行

土木⇒軌道 引渡し

R4. 5末

クリティカルB

④ 架設準備
約1ヵ月先行

⑤ 架設準備
約2ヵ月先行

2024年

8

○今回の報告内容

(1) 経過観察の結果

- ・継続して水準測量、地中変位計測、クラック調査を実施している。
- ・水準測量・地中変位計測の結果（令和3年4月5日～5月10日実施）、明確な隆起傾向はなく、盤ぶくれ現象は確認されていない。
- ・今回のクラック調査（令和3年4月5日～5月10日実施）の結果、新たに0.5mm未満のクラックが、8BLにおいて確認された。

(2) 更なる追加対策

- ・上記8BLは、明確な隆起傾向はなく、クラック幅が0.5mm未満のため、更なる対策工を追加せずに経過観察を行う。

(3) 対策工の進捗状況

- ・盤ぶくれ対策の固定ボルトは、1,876本の全ての施工が完了した。
片づけを令和3年6月末までに行い、計画通り11月から軌道工事（スラブ敷設）に着手する予定。

○前回

(1) 経過観察の結果

- ・中間報告以降、全線にわたるクラック目視調査に加え、クラック発生箇所における水準測量及びクラック幅測定、代表的な8箇所における地中変位計測をそれぞれ定期的に実施している。
- ・水準測量・地中変位計測の結果、明確な隆起傾向はなく、盤ぶくれ現象は確認されていない。
- ・クラック調査の結果より、クラック幅の拡大が確認された。

(2) 更なる追加対策

- ・クラック幅拡大の原因として盤ぶくれの可能性が完全には否定できないため、予防保全の観点から、クラック幅拡大箇所に隣接するBLの対策本数を変更することとした。

(3) 対策工の進捗状況

- ・概ね計画どおり対策が進んでいる。また、追加の対策工に伴う全体工程への影響はない。

加賀トンネル盤ぶくれ対策工の進捗状況

令和3年5月21日時点

工区	対策区間 ※対策区間のうち対策工が必要な延長を()内に示す。	施工予定期間											進捗状況		
		令和3年5月21日時点											削孔完了実績	対策完了実績	全本数
		R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6			
加賀T(北)	392km141.5m ~ 284m(L=142.5m) 392km684m ~ 393km125m(L=441.0m)										片付け		860	860	860
加賀T(中)	394km456m ~ 519m (L=63.0m)												96	96	96
加賀T(南)	396km509.5m ~ 396km803.5(L=294.0m) 396km919m ~ 397km013.5m(L=94.5m) 397km045m ~ 213m (L=168.0m)										片付け		736	736	736
	397km573m ~ 688.5m(L=115.5m) 397km730.5m ~ 762m(L=31.5m) 【樋山T】												184	184	184
合計													1,876	1,876	1,876

【参考】盤ぶくれ追加対策工後の全体スケジュール

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度(2021年度)												令和4年度(2022年度)												令和5年度(2023年度)												備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	1月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
土木工事		経過観察期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
軌道工事		仮軌道							スラブ敷設					二次溶接	レール面整正・設定替																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
電気工事・電車線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
電気工事・電車線以外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
監査・検査														運行管理システムの切替																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

リスク管理表

	リスク	発現しているリスク	対応状況
工 事	気象変化、自然災害、他地域における自然災害への対応	—	—
	予期せぬ地質条件変化への対応	R3.1.14（木）・15（金）：加賀トンネル 北・南工区において新規クラックの発生及びクラックの拡大を確認	・調査結果を踏まえ、盤ぶくれ追加対策の範囲及び対策等を整理 ・北工区は、5月末までに完了できる見通し。 ・南工区のうち石川県内区間は、5月末までに完了できる見通し。福井県内区間は、当初の5月末から6月末に遅延見込みであるが、開業設備工事の工程調整を行うことで、全体工程に影響はない。 ・クラック調査（令和3年3月1日～4月5日実施）の結果、前回（～令和3年3月1日）よりクラック幅が拡大した箇所が、対策工施工予定（未施工）の2BL（南工区0.9→1.0mm、0.15→0.5mm）において確認された。 ・2BLは、対策工が予定されており、対策工を変更せずに経過観察を行う。 ・クラック幅拡大の原因として盤ぶくれの可能性が完全には否定できないため、予防保全の観点から、クラック幅拡大箇所に隣接する1BLの対策本数を12本/BLから16本/BLに変更した。対策工の追加に伴う全体工程への影響はない。 ・今回のクラック調査（令和3年4月5日～5月10日実施）の結果、新たに0.5mm未満のクラックが、8BLにおいて確認された。 ・上記8BLは、明確な隆起傾向はなく、クラック幅が0.5mm未満のため、更なる対策工を追加せずに経過観察を行う。
	物価上昇への対応	—	—
	作業員・資機材不足への対応	R3.1.14（木）信号機器大手の京三製作所の工場と倉庫で大規模火災が発生	・納品時期の遅延はないこと、開業工程への影響が無いことを確認した（4/16） ・工場製作及び工事は計画通り進捗しており、開業工程への影響が無いことを確認した（5/21）
	新型コロナへの対応	R3.4.19（月）・4.20（火）：土木工事 受注者の協力会社社員2名が新型コロナウイルスに感染	・保健所の指導に基づく対応の結果、PCR検査で2名が陽性と判明した。 ・全体工程への影響はなし。 ・各受注者に対して、新型コロナ対策について注意喚起を実施。
		R3.5.1（土）：土木工事（石川県） 受注者の協力会社社員1名が新型コロナウイルスに感染	・軌道工事に引渡し済みのため、全体工程への影響なし。
		R3.5.7（金）：機構（福井県） 建設所の職員1名が新型コロナウイルスに感染	・工事は継続して実施しているため、全体工程への影響なし。
		R3.5.13（木）：土木工事（石川県） 受注者社員1名が新型コロナウイルスに感染	・受注者から一時中止の申し出あり。 ・本線工事は完了しているため、全体工程の影響なし。
		R3.5.17（月）：土木工事（福井県） 受注者の協力会社社員1名が新型コロナウイルスに感染	・作業員の配置換えを行い、工事を継続して実施できたため、全体工程への影響なし。
		R3.5.17（月）：機械工事 受注者社員の1名が新型コロナウイルスに感染	・機械の納入作業の従事者であり、納入作業は完了しているため、全体工程への影響なし。

現在も継続して対応しているリスク及び令和3年4月以降に発現したリスクを記載
：前回までの報告内容

リスク管理表

	リスク	発現しているリスク	対応状況
工 事	法令変更への対応	—	—
	関係機関への対応	—	—
	施工計画変更への対応	—	—
	労働災害に関する対応	—	—
	公衆災害に関する対応	—	—
	トラブルに関する対応	—	—
	その他リスク要因となり得る懸念事項	—	—

現在も継続して対応しているリスク及び令和3年4月以降に発現したリスクを記載
：前回までの報告内容